

災害対策について

飯田 洋司 議員

質問 当村の災害対策について、まずお伺いします。

今般、都市直下型巨大地震が、マグニチュード6よりマグニチュード7へ予測の変更がありました。美浦村は都心より六〇キロ圏内に位置し、昨年の東日本大震災よりも大きな被害が出る予想されます。現在、災害対策計画を策定中と思えますが、よりよい災害対策ができるよう、想定範囲を今以上に拡大する必要があると思えます。また、住民への啓蒙活動もしっかりと推進するとともに、地震災害が極力少なくして済むよう、美浦村一丸となり、災害に対処できる体制づくりが重要かと思えます。

村長の見解をお伺いします。

す。

答弁（総務部長） 現在、

美浦村地域防災計画を進めています。この計画は災害対策基本法に基づき、国の機関の想定に準じています。今後、国や県が最大クラスの地震を想定して地震動の予測を行った結果、美浦村に最大震度7が予測された場合には、早急に対応し、



被災した霞ヶ浦護岸堤防

計画に反映していきたいと考えております。

また、災害対策の啓蒙活動については、具体的な広報・啓蒙活動としまして、ホームページ・広報誌・パンフレット等を活用し、災害・防災に関する知識の普及、防災意識の向上を図りたいと考えております。

質問 水道が使用不能の状態を考えて、飲料水の確保の意味でも、井戸水の確保のデータを調査して集めていただきたいと思えますが、どうでしょうか。

答弁（村長） 行政のほうから各地区に要望をいたしまして、早目に取りまとめもできるような態勢は作っていききたいと思います。

答弁（総務部長） 給水源の確保は、これも非常に大事なことであります。

東日本大震災時に美浦村においても停電や給水管の

破裂・亀裂が生じましたが、自家発電機の利用や早急な対応により水の確保をしたという経緯があります。しかし、想定外の地震が発生した場合、議員ご指摘のとおり地下水の重要性は大きいと思えます。

村内でも、井戸と水道を共用されて使っている方がおります。その自家用井戸の水質検査も含めて調査させていただいて、活用できるといふことになれば、それに対応していきたいと考えています。



美浦村消防団